



神田に2004年に完成した「岩本町ほほえみプラザ」は、地下2階地上15階の複合施設（高齢者介護支援施設、地域利用施設、賃貸住宅）です。

1993年まで今川小学校だった敷地からは、主に江戸時代後期の町家跡が発掘されました。九尺二間（間口2・7m奥行3・6m）の部屋が連なる裏長屋や土蔵、上下水道跡などは、狭くて密集しながらも、職人や商人などの町人がこの地に生き活きとして暮らしていたことを伝えるものでした。

そこで、建物前広場には神田ならではの趣向が凝

# 御城下町神田

「じょうかまちかんだなぞときこころ」

# 謎解講

らされました。土蔵の礎石を使って「今様くぐり門」（パーゴラ）、レンガ造りの坪庭（ポケットパーク）、江戸の子どもが遊んだ泥面子（拡大再現）、建物正面の柱4本には「江都絵解・鯨絵」「江都絵解・武蔵野」「江都絵解・お玉ヶ池」「江都絵解・武蔵野」の柱浮彫り（レリーフ）。

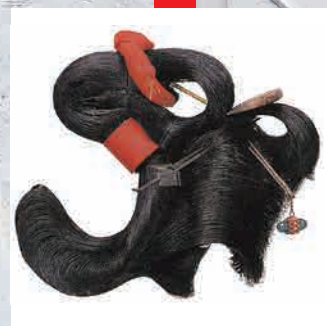
鯨や蛙、団十郎に顕微鏡、口々小紋、将門、本田齋

……。これがどうして神田に登場するのでしょうか。

残念ながら作者・坂上直哉氏は、昨年亡くなってしまいました。皆さんと「御城下町神田謎解」と題する一連のワークの謎解きを楽しみます。



絵解き



神田解き



謎解き

心意気



「坂上直哉の足跡をたどる」会

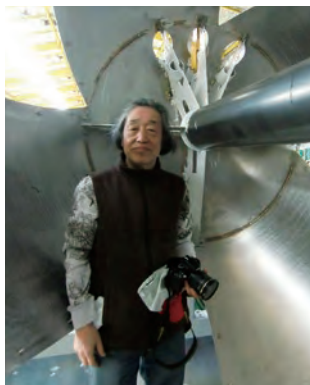


# 坂上直哉追悼展 Part 2 併催企画 **2つの謎解講** 絵解き 謎解き 心意気

この度の謎解講2本は、昨年旅立った美術家・坂上直哉氏追悼展Part2の併催企画として開催されます。氏は、東京藝大を卒業後、「建築空間にステンレスで絵を描きたい」と鉄鋼会社の門をたたいてから50余年、建築とともに豊かな空間を創造するアートを目指してきた異色のアーティストです。そのため、生前は各地の作品を一堂に介して皆様にご覧いただける機会がなく、春と秋の2回に分けて氏の作品とその制作姿勢をご紹介しますことにいたしました。



『翼竜のたまご』(2013年 中京大学・名古屋)



たまご内部にて(製作中)

4月の追悼展Part1『ステンレスで絵を描きたい』では、ステンレスの作品を中心に展示。9月にはPart2『**紋なす場のアート**』と題し、氏が生涯大切にしてきた、多くの人々との関わりの中から生まれる場のアートについて、陶板、木、漆喰などの作品も併せてご紹介いたします。追悼展のご高覧および2本の謎解講へのご参加をお待ちしております。

## 坂上直哉 Sakagami Naoya

1947年東京生まれ。  
1972~2012年まで日新製鋼嘱託として表現と技術の共同開発に携わる。  
1984年「アートワーク空」を主宰。アーティストとして設計と建築空間におけるワークを開始。  
1995年「アートアソシエイツ八咫」を設立、3人のメンバーで、外部とのネットワークによる恒久設置のアートワーク、展覧会企画、運営などを行ってきた。  
2022年永眠 (一社)日本建築美術工芸協会理事  
著書『翼竜のたまご』(日経BP社 2017)

## 謎解講第二弾『美術家・坂上直哉の謎を解く』

10人からの作家と紀伊半島を巡った和歌山県立医科大学アートプロジェクト、地域との交流から生まれた神田岩本町のワーク、水俣に今も咲き続ける花蓮…坂上氏のワークには様々な人やモノ、コトが絡んでいます。一体氏はどのようなアートを目指していたのでしょうか?これまで氏と仕事で関わってきた方々に坂上ワールドを語っていただきます。

日時:2023年9月21日(木) 18:30~20:30 (18:00受付開始)

参加費:1,000円(1ドリンク) (追悼展は入場無料)

定員:先着30名 〆切 9月8日(金)

出演者と坂上氏が関わった主なプロジェクト:

\*出演者変更や当日飛び入りがあることをご了承ください。

- 南三一郎(元山下設計) 鹿児島市教育総合センター、東京電機大学鳩山キャンパス、ホテルグランヴィア京都
- 土屋善仁(都市・建築計画研究所代表) 首都高速中央環状品川線・中目黒換気所、伊吹山ドライブウェイゲート、JR高岡駅、都築木材、サーパス
- 岡村裕次(TKO-M.architects) 日大習志野高等学校、第68回国体炬火台、千代田区富士見みらい館
- 鎌田収(日鉄ステンレスアート常務取締役) 氏のステンレス作品全般
- 渡辺英明(菊川工業取締役) 大手町フィナンシャルセンター、中京大学、中目黒換気所
- 磯部猛(磯部聚楽工業所) 日大習志野高等学校、高梨邸
- 三輪途道(彫刻家) 和歌山県立医科大学、JR高岡駅
- 野老朝雄(美術家) 水俣メモリアルコンペ、和歌山県立医科大学
- 倉本紀久子(アートアソシエイツ八咫)
- 露口典子(アートアソシエイツ八咫)

(順不同)

## 謎解講第一弾『御城下町神田謎解講』

神田の「岩本町ほほえみプラザ」前庭のアートワーク『御城下町神田謎解』を元に、お江戸の専門家たちが、坂上直哉氏の残した数々の謎を解いていきます。一緒に江戸に想いを馳せてみませんか。

日時:2023年9月18日(月、祝) 16:30~18:30 (16:00受付開始)

参加費:2,000円(1ドリンク) (追悼展は入場無料)

定員:先着50名 〆切 9月8日(金)



出演者:

●後藤宏樹

元千代田区学芸員、現在早稲田大学人間総合研究センター研究員。江戸都市研究家として活躍。NHKプラタモリ案内人としても知られる。

掲載「大江戸地下探検-遺跡に見る江戸」(図説大江戸ウォークマン・マガジン別冊歴史読本)など

●岸川雅範

江戸時代に総鎮守とされた神田明神禰宜。広報担当として明神塾など企画。

著者『江戸天下祭りの研究-近世近代における神田祭の特徴と変容』(岩田書院 2017)、『江戸の祭礼』(KADOKAWA 2020)など

●田中圭子

東京都教育庁文化財調査担当学芸員を経て、現在東京藝術大学大学美術館助教。

著者『日本髪大全:古代から現代までの髪型の歴史と結び方がわかる』(誠文堂新光社 2016)、『うらめしい絵:日本美術に見る怨恨の競演』(誠文堂新光社 2018)など

◆会場:建築会館1階ギャラリー

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20

◆申込み:事前申込み(先着順) 〆切 9月8日(金)

上記QRコード、saksakakudan@gmail.com、FAX(03-3309-0082)にて

①住所②氏名③TEL④mail 明記の上、お申込みください。

◆主催:「坂上直哉の足跡をたどる」会

◆追悼展後援:学校法人 玉川学園

玉川大学・玉川学園学友会

(一社)日本建築美術工芸協会

日鉄ステンレス株式会社

◆お問合せ:「坂上直哉の足跡をたどる」会事務局 TEL:03-5213-5453

